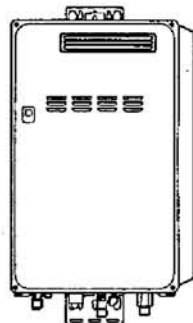


屋外設置形 (BL認定品)

ガス給湯器

34-320型	34-310型
34-321型	34-311型
34-322型	34-312型
34-323型	34-313型

型式名	TP-SQ166R-1	TP-SQ246R-2
	TP-SQ166T-1	TP-SQ246T-2
	TP-SQ166S-1	TP-SQ246S-2
	TP-SQ166B-1	TP-SQ246B-2



取扱説明書

ご使用前に必ずこの説明書をよくお読み十分に理解したうえで、正しくお使いください。別添の保証書とともに、この「取扱説明書」をいつでもご覧になれるところへ大切に保管してください。

なお、ご不明な点があればお買い上げの販売店にお問い合わせください。

大阪ガス株式会社

お問い合わせ先

別添 大阪ガスのお問い合わせ先
をご参照願います。

お願い

ガスくさいときは、ガス栓を閉じ窓を全開にして、(火気に注意して)大阪ガスに連絡してください。

HZ6008

大阪ガス

安全に正しくお使いいただくために

表示について

製品を正しくお使いいただくためや、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにこの取扱説明書および製品への表示では、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



危険

この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる場合が想定されることを示しています。



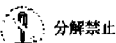
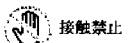
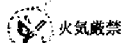
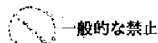
警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が傷害を負う可能性が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定される場合を示しています。

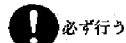


一般的な禁止

火気厳禁

接触禁止

分解禁止



必ず行う



電源プラグを抜く



アースを接続せよ

ご注意

ご使用になるときに、よく理解していただきたい内容を示しています。

一口メモ

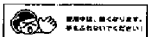
知っておいて欲しい内容を示しています。

(○○ページ)

文章中の()内のページは参照ページを示しています。

機器本体の表示について

(図は34-320を示します。)



やけど注意

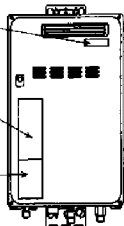
排気口や周囲が高温になるためやけど注意を表示しています。

使用上の注意

使用上の注意について表示しています。

定格銘板

型式名・使用ガスの種類・製造年月・製造事業者等を表示しています。



ごあいさつ

このたびは、大阪ガスの方給湯器をお買い上げいただき、ありがとうございます。ありがとうございました。

取扱説明書を紛失された場合は、お買い上げの販売店または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。その際、機器本体の銘板をご覧のうえ、型式名・製造年月をお知らせください。

機能と特長

■お使いになる湯温や湯量に応じてガス量を自動調節します。

■冬期、気温が下がると自動的に作動し、凍結を予防するヒーターが組み込まれています。

■別売品の浴室リモコン・台所リモコンを取り付けているお宅では、給湯湯温を、37～75℃の間で16段階の調節ができます。

■湯量おしらせ機能

別売品の台所リモコンを取り付けているお宅では、浴槽への湯張りするとき便利な湯量おしらせブザーが付いています。

(15ページ)

もくじ

・安全に正しくお使いいただくために	1
・必ずお守りください	3

・各部の名前と参照ページ	8
機器本体	8
台所リモコン (別売品)	9
浴室リモコン (別売品)	10
・はじめて使うとき	11
現在時刻の合わせかた	11
・リモコンなしで使う	12
・台所リモコンで使う (別売品)	13
お湯を使うとき	13
浴槽にお湯張りするとき	15
・浴室リモコンで使う (別売品)	17
お湯を使うとき	17
・台所リモコンと浴室リモコン	19
セットで使う場合	19

・故障かな?	21
お湯の出かた	21
機器本体	22
リモコン	23
リモコンのアラーム番号が出たとき	24

・凍結による破損予防	25
・点検とお手入れ	27
・寸法図	28
・仕様	30
・アフターサービスについて	33

使
い
か
た

故
障
か
な
?

点
検
・
手
入
れ
な
ど

2

必ずお守りください

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

▲危険

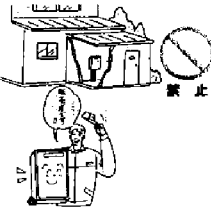
■屋外用ガス機器

- この機器は屋外式ですので絶対に屋内に設置しない。不完全燃焼を起こし危険です。

▲警告

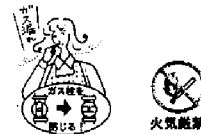
■機器設置（および付帯工事）

- この機器は屋外設置形ですので、増改築などによって屋内状態にしない。また、排気口の前方に物を置いたり、設置後機器を波板やビニールなどで囲わない。不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。
- 機器の設置・移動および付帯工事は、必ずお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスに依頼し、安全な位置に正しく設置して使用する。設置工事に不備があると事故の原因となります。



■ガス漏れ時の処理

- ガス漏れに気づいたときはすべての処置が終わるまでの間、絶対に火をつけたり電気機器（換気扇その他）のスイッチの「入」・「切」や電源プラグの抜き差しおよび周辺の電話を使用しない。炎や火花で引火し火災のおそれがあります。
- ①すぐに使用をやめ、ガス栓を閉じる。
- ②お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスに連絡する。



■使用ガス・使用電源について

- 銘板（機器左下正面に貼付）に表示してあるガス（ガスグループ）および電源（電圧・周波数）の適合を確認する。表示のガス種および電源が一致しないと不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、爆発着火でやけどしたり、機器が故障する場合があります。特に転用した場合は必ずガスの種類（電源の種類）が一致しているかどうか確認する。
- わからない場合はお買い上げの販売店または、最寄りの大阪ガスに連絡する。



製造年月を表示しています。
例) 98・6→1998年6月の製造

■子供に対する注意

- 浴槽にお湯張りしているときに子供を浴室で遊ばせないようにする。浴槽に落ちますと思われ事故につながる場合があります。

▲警告

■給湯・シャワーを使うとき

- お湯を止めた後に再使用する時、お湯の量を急に少なくしたとき、給水圧が上がったとき、あるいは万一、機器の故障の際には一瞬、あつにお湯が出ることがあります。やけどの防止のために出始めのお湯は体にかけない。また、給湯使用時は出湯管（蛇口）があつくなりますのでやけどに注意してください。
- シャワーを使う場合に最初にあつにお湯が出ることがあります。手のひらで温度を確かめて湯温が安定してからお使いください。
- シャワー・給湯の使用中は、使用者以外はお湯の温度を変更しない。突然、熱湯が出てやけどしたり、冷水が出てビックリすることがあります。



■火災予防

【可燃物に注意】

- 機器および排気口の周囲に燃えやすいものを置かない。火災の原因となります。
- 排気口は洗濯物などでおおわない。不完全燃焼の原因となります。



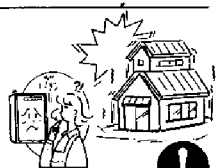
【スプレー缶厳禁】

- 機器の周囲や上にスプレー缶、カセットコンロ用ボンベなどを置かない。熱でスプレー缶内の圧力が上がり爆発するおそれがあります。
- #### 【引火のおそれがあるものの使用禁止】
- 機器の周囲ではスプレー、ガソリン、ベンジンなど引火のおそれのあるものを使用しない。引火して火災のおそれがあります。



■異常時の処理

- ①点火しない場合または、使用中に異常な燃焼、臭気、異常音、異常な温度を感じた場合、使用中で消火する場合はただちに使用を中止しガス栓を閉じる。
 - ②「故障かな？」（21ページ）に従い処置をする。
 - ③上記の処置をしても直らない場合は使用を中止しお買い上げの販売店または、最寄りの大阪ガスに連絡する。
- 地震、火災などの緊急の場合は迅速に使用を中止しガス栓を閉じる。



■ガス接続について

- この機器はねじ接続です。接続は配管技能者が行う必要がありますのでお買い上げの販売店または、最寄りの大阪ガスにご相談ください。

■分解禁止

- 修理技術者以外の人には絶対に分解したり修理・改造は行わない。異常作動してけがの原因となります。



必ずお守りください

△注意

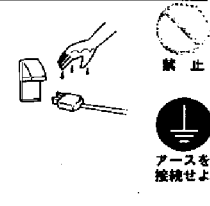
■用途についての注意

- 一般家庭での台所・シャワー・洗面所・浴槽へのお湯張りなどへの給湯以外の用途には使用しない。
- この機器をソーラーシステムに接続しないでください。ご希望の温度より高いお湯が出てやけどをするおそれがあります。



■電気事故防止

- ぬれた手で電源プラグをさわらない。感電のおそれがあります。
- 電源コードを加工したり無理な力を加えない。感電、ショートや発火による火災のおそれがあります。
- 濡んだプラグ、コードは使わないこと。差し込みがゆるいと感電や火災の原因になります。
- 電源プラグはほこりをふき取る。発火の原因になります。
- 電源コードを引っばってプラグを抜かない。コードを引っばると断線して発熱や発火の原因になります。
- この機器は接地工事（アース）が必要ですのでアースされていることを確認する。



■やけどに注意

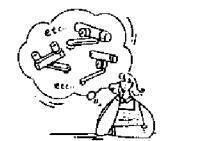
- 機器の使用時、または使用直後は排気口とその周辺には絶対に手で触れたりしない。高温になっていますので、やけどのおそれがあります。特に小さな子供のいる家庭では注意が必要です。



◇ご注意

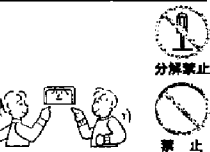
■補助用具について

- 補助用具はこの機器用の付属品あるいは指定のもの以外は使用しないでください。
- 水圧の低い地域では泡沬水栓を使用しないでください。（わからないときは、販売店に確認してください。）
- 混合水栓には、さまざまな種類があります。使用方法は、混合水栓の取扱説明書をご覧ください。
- やけど対策上、サーモスタット付混合水栓の使用をおすすめします。



■リモコンの注意

- リモコンは、分解したり、乱暴に扱わないでください。誤動作や故障の原因となります。
- 浴室リモコンは、防水タイプですが故意に水をかけないでください。台所リモコンには、水をかけないでください。
- リモコンは子供がいじらないように注意してください。



■飲用にお使いのときは

- 機器内に長時間たった水たえば、朝一番の使い始めのまだぬるいお湯（洗面器一杯程度）は念のため給湯水としてお使いいただき、その後飲用水としてお使いください。



◇注意

■日常の点検・お手入れ

- 日常の点検、お手入れをしてください。（詳しくは27ページをご覧ください。）
- 故障または破損したと思われるときは使用しないでください。このとき、ご自分で修理なさらず買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。

■点火・消火の確認

- 使用時の点火、使用後の消火を燃焼表示にて確認してください。

■凍結についての注意

- 冬期には機器内の水が凍って機器が破損することがありますので凍結のおそれがあるときは25ページの「凍結による破損予防」にしたがって処置をしてください。

■凍結したとき

- 機器や配管が損傷しますと高額な修理費がかかります。（有料）
- 凍結したままでは絶対に使用しないでください。
- 再使用の場合は、凍結がとけた後、全ての給湯栓から水が出ることを確認してください。機器および配管から水漏れがないことを確認後、11ページ「はじめて使うとき」の項以下の操作を行ってください。
- 凍結予防運転のために電気を使用していますから緊急のとき以外は電源プラグを抜かないでください。



■雷が発生しているときの注意

- 雷が発生しはじめたらすみやかに運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。
- 別売リモコン使用の場合、5分以上電源プラグをコンセントから抜いた場合は、リモコンの各設定（給湯温度・現在時刻等）を行い、表示を確認した後ご使用ください。



■雷が鳴った後、機器が作動しないとき

- 落雷の際、お湯が出なくなった場合は機器内の漏電リレーが作動したことが考えられます。このようなときには、電源プラグを一度コンセントから抜き、再度差し込んでください。それでも使用できないときは買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。

■停電時や電源プラグを抜いたとき

- この機器は停電時や電源プラグを抜いたときは使用できません。停電時は給湯性を閉めてください。
- 別売リモコン使用の場合、再通電したときは、リモコンの設定（給湯温度・現在時刻等）を行い、表示を確認した後ご使用ください。（5分以上の停電のときは再設定が必要です。）



■用途についての注意

- 本製品は家庭用ですので業務用のような使用をすると機器の寿命が著しく短まります。

必ずお守りください

ご注意

■長期間使用しない場合

- 26ページの機器内の水を抜く方法により、水抜きを行ってください。
水が長い間流れないと一瞬、濁ったお湯が出たり、冬期には、凍結するおそれがあります。



ご注意 設置状態の確認

■可燃物との離隔距離

- 機器を設置する場所の周囲の壁、天井などが防火上安全なものであるか確認し、可燃性の部分から十分離して設置してください。(わからないときは販売店に確認してください。)

■設置場所について

- 設置場所をお決めになるときは近隣の家が運転音(燃焼音、燃焼用送風機等)で迷惑にならない場所に設置してください。(工事する方とよく相談してください。)
- 足場などを組まなければメンテナンスができない高所などに設置しないでください。メンテナンスをお断りすることがあります。

■給排気について

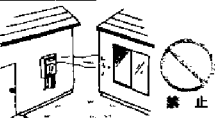
- 機器は給気・排気が十分できる場所に設置してください。給排気が不十分な場所に設置すると不完全燃焼の原因となり危険です。

■塩ビ管の使用について

- 給水・給湯配管に塩ビ管を使わないでください。
機器の使用直後に熱交換器の後沸きにより塩ビ管が破裂し、熱湯がふき出したり、多量の水漏れの原因になります。

■排気ガス

- 排気ガスが直接建物の外壁やアルミサッシなどに当たらないよう、施工してください。外壁が変色したり、アルミサッシが腐食したりするおそれがあります。
- 排気口からの排気ガスによって、加熱されて困るもの(危険物・植物・ペットなど)を置かないでください。



■地下水、井戸水の注意

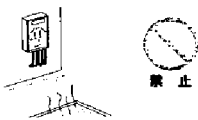
- 地下水や井戸水を使用される場合は施工前に十分、水質を確認してください。水質によっては配管や機器を腐食させることがあります。

■塩害

- 海岸近くに設置する場合、機器が塩分を多量に含んだ霧塵気にはさらされるときは、必要な防護処置をとってください。機器が腐食し、故障の原因になります。

■ほこり

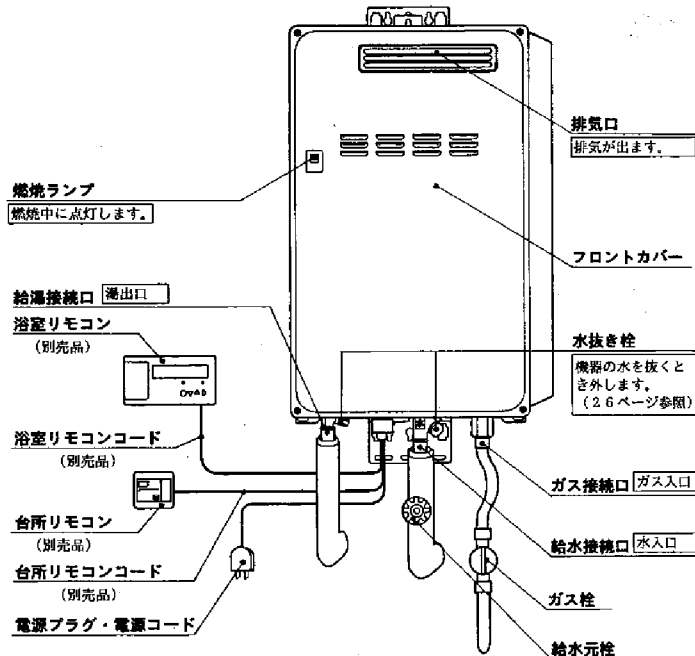
- 砂や油煙、ペットの毛などのほこりの立ちやすい場所には設置しないでください。ほこりが給気口をふさいだり、燃焼用の送風機の性能を低下させ、不完全燃焼の原因となります。
(厨房の排気ダクトの近くは油煙による不具合の原因となります。)



各部の名前と参照ページ

機器本体

(図は34-320を示します。)

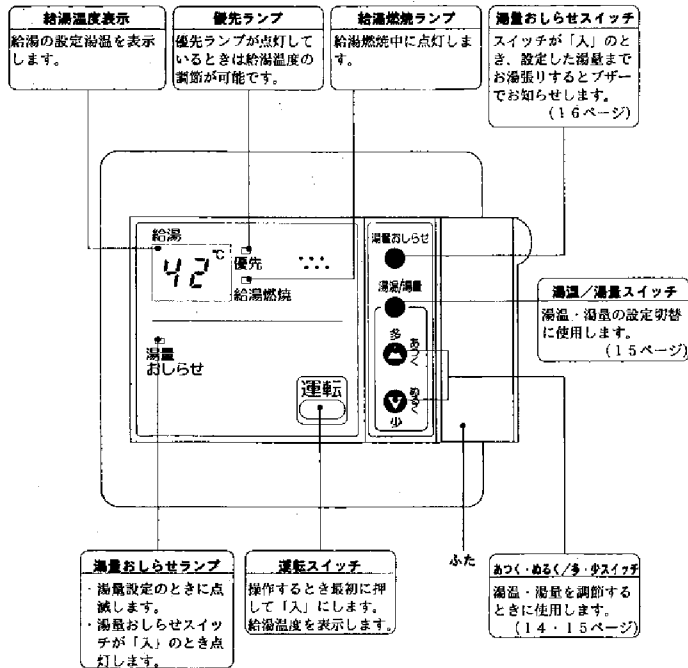


このガス給湯器は、リモコンがなくても使用できます。

必ずお守りください・各部の名前と参照ページ

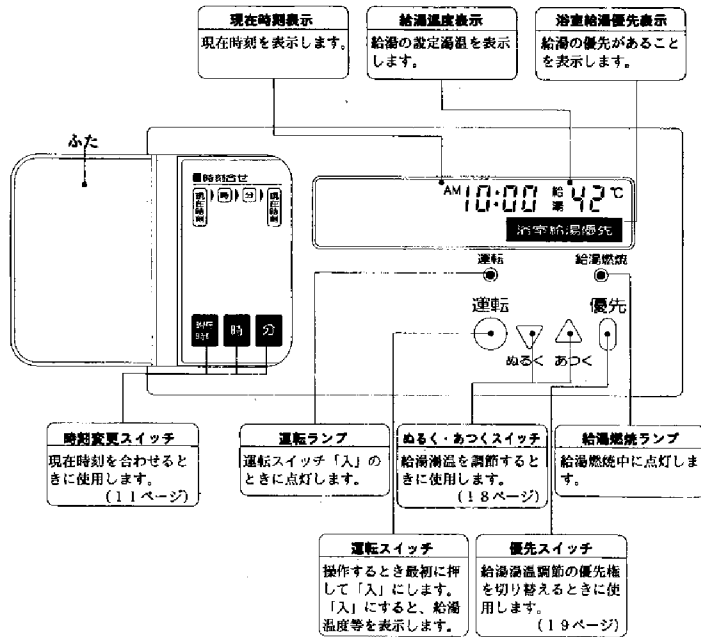
台所リモコン [38-525] (別売品)

- 台所リモコンの画面表示は給湯温度42℃を表示したものです。
- 通常はふたを閉じた状態にしておいてください。



浴室リモコン [38-526] (別売品)

- 通常はふたを閉じた状態にしておいてください。

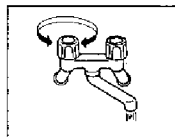
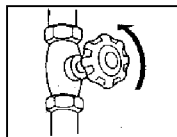


はじめて使うとき

次の確認と準備が必要です

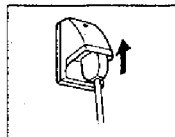
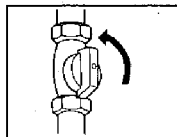
機器および機器周辺の点検・確認を行ってください。(27ページ)

1 水が出ることを確かめる 給水元栓・給湯栓を開ける



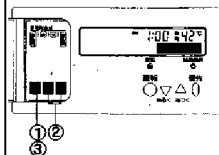
1. 水が出ることを確かめる
2. 給湯栓を閉じる

2 ガスの閉栓と電源プラグが差し込まれていることを確かめる ガス栓を開け、電源プラグを差し込む



浴室リモコン(38-526) (別売品) を取り付けているお宅

現在時刻の合わせかた (「運転」スイッチが「入」・「切」に関係なく操作できます。)



①現在時刻スイッチを押す



・現在時刻が点滅します。点滅している時間は約10秒間です。その間に次の操作を行ってください。

②時刻を合わせる 時/分スイッチを押す



・時刻が変わります。
・AM(午前)・PM(午後)に注意して押してください。
・スイッチを押し続けると連続的に数字が変わります。

③現在時刻スイッチを押す



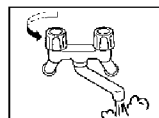
・現在時刻の点滅が止まります。
・現在時刻スイッチを押さなくても時刻を合わせてから約10秒後に点滅が止まり、時計が動き始めます。

工場出荷時は、現在時刻AM 1:00に設定しています。

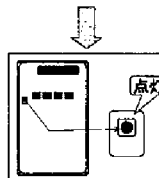
リモコンなしで使う

給湯栓を開ければ、お湯がでます。
お湯の温度は約60℃の高温(一定)になります。必ず混合水栓をお使いください。

1 お湯を出す

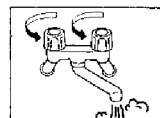


給湯栓を開ける

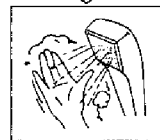


・給湯器の燃焼ランプが点灯します。

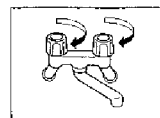
2 お湯の温度を調節する



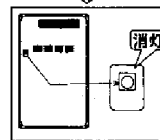
お湯と水を混ぜて調節する



3 お湯を止める



給湯栓、給水栓を閉じる



・給湯器の燃焼ランプが消灯します。

(図は34-320を示します。)

一口メモ

・混合水栓にはサーモスタット付、シングルレバータイプ、止水機能付など、さまざまな種類があり、因と異なる場合があります。

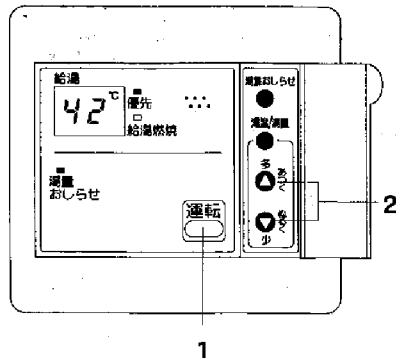
ご注意

・この機器は、約60℃一定出湯のほかに、約75℃一定、約45℃一定に設定が可能です。(工場出荷時は、約60℃一定です。) 設定温度を変える場合は、お買い上げの販売店または、最寄りの大阪ガスにお問い合わせください。

はじめて使うとき・リモコンなしで使う

台所リモコンで使う (別売品)

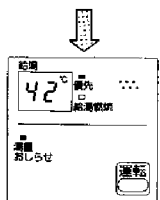
お湯を使うとき



1 運転スイッチを「入」にする



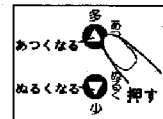
運転スイッチを押す



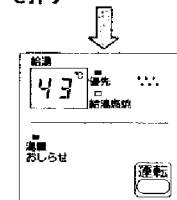
- ・給湯温度を表示します。
- ・優先ランプが点灯します。

※優先ランプが点灯しているとお湯温度を変更することはできません。
19～20ページの台所リモコンと浴室リモコンセットで使う場合をご覧ください。

2 お湯の温度を設定する

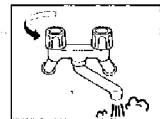


あつく・ぬるくスイッチを押す

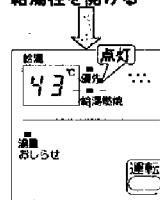


- ・給湯温度が変わります。

3 お湯を出す

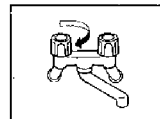


給湯温度を確認し、給湯栓を開ける

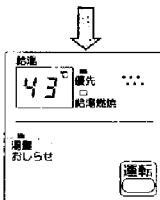


- ・給湯燃焼ランプが点灯します。

4 お湯を止める



給湯栓を閉じる



- ・給湯燃焼ランプが消灯します。
- 次にお使いになるときは (お湯の温度を変えない場合) 3、4の操作で使えます。

台所リモコンで使う

給湯温度設定

次のいずれかの温度に設定できます。(目安の温度)
お使いになる温度に設定してください

87 88 89 40 41 42 43 44 45 46 47 50 51 52 53 54 55 °C

食洗機など シャワー、給湯など 混合水性で使うときや おふるへのあつたし湯など

工場出荷時には、お湯の温度は42°Cに設定されています。

ご注意

- ・設定した温度は、運転スイッチを「切」にしても記憶されています。ただし、次の場合は温度が切り替わりますので再度設定してください。
- ①やけど防止のため、設定温度が60°C以上のときは、運転スイッチを「切」にした後、再度運転スイッチを「入」にすると自動的に55°Cに切り替わります。
- ②停電や電源プラグを抜いたときは、42°Cになります。
- ・お湯を使うときは、給湯栓を十分開けてお使いください。
- ・台所や浴室などで同時使用すると、お湯の量や温度が変化することがあるのでご注意ください。
- ・55°C以下の温度設定のお湯を使いながら60°C以上に上げようとすると警告音「ピッ…」が鳴り、危険防止のため55°Cで止まります。60°C以上に上げる場合は、一旦お湯を止めてから給湯温度の設定をしてください。設定するときは、他の場所が使われていないことを確認してから行ってください。

△警告

- ・シャワー・給湯の使用中は、使用者以外はお湯の温度を変更しない。突然、熱湯が出てやけどしたり、冷水が出てびっくりすることがあります。
- ・シャワーを使う場合は、最初にあつたお湯が出る場合があります。手のひらで温度を確かめて運転が安定してからお使いください。
- ・お湯と水の量の調節やリモコンでの温度設定を確かめてから使う。
- ・お湯を止めた後に再使用するとき、お湯の量を急に少くしたとき、給水圧が下がったとき、あるいは万一、機器の故障の際には一瞬あつたお湯が出る場合があります。やけど防止のために出始めのお湯は体にかけない。また、給湯使用時は出湯管（蛇口）があつくなりますのでやけどに注意してください。

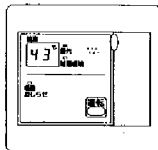
一口メモ

- ・給湯栓から出るお湯の温度は、配管の長さや気温などにより必ずしも表示と一致しません。目安としてお使いください。

浴槽にお湯張りするとき

湯量おしらせ機能を使う

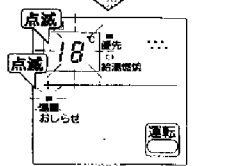
- ・湯量おしらせ機能を使えば、何度も浴室へ湯量を確かめに行くことや、浴槽へのお湯の入れすぎもなく、お湯張りができます。
 - ・設定した湯量になると台所リモコンのブザーが約10秒間鳴り、お湯が張られたことをお知らせします。
- 自動的に止まりませんので、お湯を止めてください。



1 お湯張り量(湯量)を調節する



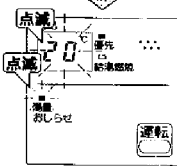
湯温/湯量スイッチを押す



給湯湯量表示と湯量おしらせランプが点滅します
(→180ℓを示しています。)



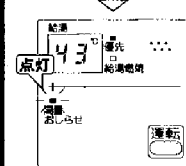
多・少スイッチで調節



(→200ℓを表しています。)



湯温/湯量スイッチを押す



湯量おしらせランプが点灯し、給湯温度表示にもどります。
押さないまま約10秒たつと点滅が止まり、給湯温度表示にもどります。
【注】工場出荷時は、湯量おしらせが「入」の状態になっています。
(湯量おしらせランプ点灯)

お好みの湯量に設定してください

50	120~360	400	500ℓ
----	---------	-----	------

最低湯量 20ℓきざみ 最高湯量

湯量表示は、下1桁を表示しません。
工場出荷時は、湯量は180ℓに設定されています。

ご注意

- ・湯量おしらせ機能を使用するときは、給湯栓のみ開け水と混ぜないでお湯張りしてください。
- ・湯量おしらせ機能「入」でお湯張り中に台所などでお湯を使うと、使った量だけ浴槽へのお湯張りが減りますので気をつけてください。(例えば、設定湯量が180ℓのとき台所で30ℓ使ったと、浴槽に150ℓ入れたところでブザーが鳴ります。)
- ・浴槽の種類によって、あまり多めに設定するとあふれることがあります。
- ・最初は、工場出荷時の180ℓでお湯張りし、実際の湯量を確認してから増減することをおすすめします。
- ・設定湯量、湯量おしらせ機能は運転スイッチを「切」にしても記憶されています。ただし、停電や電源プラグを抜いたときは、設定湯量が180ℓになりますので、再度設定してお使いください。

一コマメモ

- ・お湯張り量(湯量)とは、浴槽へ入れるお湯の量のことです。

サーモスタット付混合水栓を取り付けているお宅では

【お湯張り時の注意】

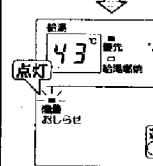
- ・リモコンの給湯温度より低い温度にサーモスタット付混合水栓の温度をセットしますと、水が混合され、設定湯量より多くお湯張りしますので、浴槽からあふれることがあります。
- ・湯量おしらせ機能を使用するときは、リモコンの給湯温度は希望の入浴温度に設定し、サーモスタット付混合水栓の温度はそれ以上に設定してご使用ください。また、お湯張り終了後は、サーモスタット付混合水栓の設定温度を通常使用している温度に下げてください。

2 湯量おしらせ「入」を確認

湯量おしらせランプが点灯していることを確認



「入」でなければ湯量おしらせスイッチを押す



・湯量おしらせランプが点灯します

3 お湯を出す

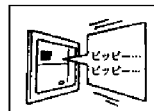


給湯温度を確認し、浴槽の給湯栓を開ける



・湯量のカウントを開始します

4 お湯を止める(お湯張り完了)



本体操作部のブザーが鳴ったら



浴槽の給湯栓を閉じる

湯量おしらせ機能を解除する場合(ブザーを鳴らさないとき)

湯量おしらせ機能を解除する場合は、湯量おしらせスイッチを押して、湯量おしらせランプを消灯させてください。



湯量おしらせスイッチを押す



湯量おしらせランプが消灯します

△注意

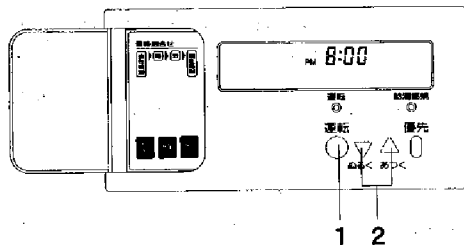
- ・入浴するときは、十分かきませ、手で温度を確認してから入浴する。やけどのおそれがあります。

○注意

- ・お湯張り完了のブザーが鳴る前に、次のことを行った場合、湯量カウントが初めから行われ浴槽からあふれることがありますのでご注意ください。
 - ①例えば、外出のため全ての給湯栓を閉じ、帰宅後、続けてお湯張りをしようとしたとき。
 - ②例えば、誤って運転スイッチ(別売品の浴室リモコンも含む)を「切」にし、再度「入」にしたとき。
- ・お湯張り中に浴室リモコンに優先を切り替えるとお湯の温度が変わります。
- ・お湯張り中は、優先を切り替えないでください。
- ・湯量おしらせ機能を解除した状態で運転スイッチを「切」にし、その後運転スイッチを「入」にしたときは、湯量おしらせ機能は解除されたままです。

浴室リモコンで使う (別売品)

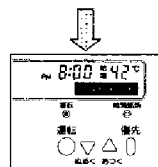
お湯を使うとき



1 運転スイッチを「入」にする

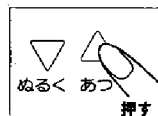


運転スイッチを押す

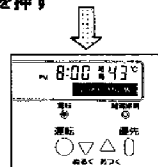


- ・運転ランプが点灯します。
- ・給湯温度、浴室給湯優先等が表示します。

2 給湯の温度を設定する

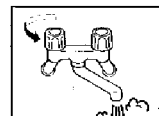


ぬるく・あつくスイッチを押す

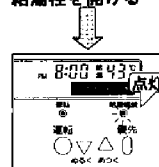


- ・給湯温度が変わります。

3 お湯を出す

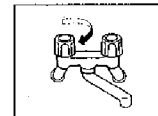


給湯温度を確認し、給湯栓を開ける

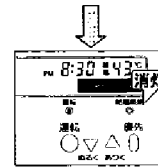


- ・給湯燃焼ランプが点灯します。

4 お湯を止める



給湯栓を閉じる



- ・給湯燃焼ランプが消灯します。
- 次にお使いになるときは(お湯の温度を変えない場合)3、4の操作で使えます。

給湯温度設定

次のいずれかの温度に設定できます。(目安の温度)
お使いになる温度に設定してください

37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 50 55 60 70 80°C

食器洗いなど シャワー、結露など 湯洗いなど
湯洗いなど シャワー、結露など 湯洗いなど
工場出荷時には、お湯の温度は42°Cに設定されています。

ご注意

- ・設定した温度は、運転スイッチを「切」にしても記憶されています。ただし、次の場合は温度が切り替わりますので再度設定してください。
- ①やけど防止のため、設定温度が60°C以上のときは、運転スイッチを「切」にした後、再度運転スイッチを「入」にすると自動的に55°Cに切り替わります。
- ②5分間以上、停電や電源プラグを抜いたときは、4.2°Cになります。
- ・お湯を使うときは、給湯栓を十分開けてお使いください。
- ・浴室や台所などで同時使用すると、お湯の量や温度が変化することがあるのでご注意ください。
- ・55°C以下の温度設定のお湯を使いながら60°C以上に上げようとすると警告音「ビッ…」が鳴り、危険防止のため55°Cで止まります。60°C以上に上げる場合は、一旦お湯を止めてから給湯温度の設定をしてください。設定するときは、他の場所で使われていないことを確認してから行ってください。

△警告

- ・シャワー・給湯の使用中は、使用者以外はお湯の温度を変更しない。突然、熱湯が出てやけどしたり、冷水が出てビックリすることがあります。
- ・シャワーを使う場合は、最初にお湯が出る場合があります。手のひらで温度を確かめて湯温が安定してからお使いください。
- ・お湯と水の量の調節リモコンでの温度設定を確かめてから使う。
- ・お湯を止めた後に再度使用するとき、お湯の量を急に少くしたとき、給湯圧が下がったとき、あるいは万一、機種の故障の際には一瞬あついお湯が出る場合があります。やけど防止のために出始めのお湯は体にかかない。また、給湯使用時は出湯管(蛇口)があつくなりやすいためやけどに注意してください。

一口メモ

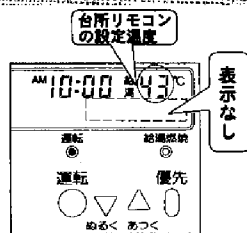
- ・給湯栓から出るお湯の温度は、配管の長さや気温などにより必ずしも表示と一致しません。目安としてお使いください。
- ・サーモスタット付混合水栓がついている場合は、リモコンの給湯温度は50、55°Cに設定してください。たとえば約40°Cのシャワーを浴びたいときは、サーモスタット付混合水栓で約40°C(適温)にします。

台所リモコンと浴室リモコンセットで使う場合

優先について、シャワーを安全にお使いいただくために（やけど注意）

- ・シャワー使用中に台所リモコンでお湯の温度を変えるとやけどをするおそれがあります。温度が調節できるリモコンはどちらか1つに限ることを優先といいます。
 - ・優先は、優先ランプが点灯または、浴室給湯優先が表示しているリモコンにあります。シャワー・給湯を使うときは優先があることを確かめてからお使いください。
- 台所リモコン、浴室リモコンの操作は13～18ページをお読みください。

1 浴室給湯優先表示を確認



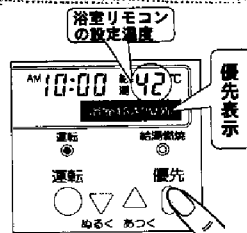
（浴室リモコン）

優先表示がないので温度調節ができません

【浴室給湯優先が表示しているときは】

- ①設定温度を変えないで使うときは、4へ
- ②設定温度を変えて使うときは、3、4へ

2 優先を移す



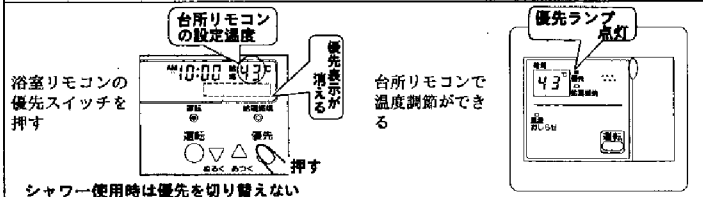
優先スイッチを押す

・現在の浴室リモコンの設定温度が表示します。

【優先スイッチを押すごとに浴室リモコン、台所リモコンと交互に優先が切り替わります。

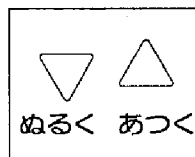
- ①設定温度を変えないで使うときは、4へ
- ②設定温度を変えて使うときは、3、4へ

浴室リモコンから台所リモコンへ優先を切り替えるとき



シャワー使用中は、運転スイッチ・優先スイッチをシャワー使用者以外のかたが操作しないことが、安全にお使いいただくための基本です。

3 お湯の温度を調節する



ぬるく・あつくスイッチで調節します。（18ページ）

4 シャワーを使う

給湯温度を確認し、給湯栓を開ける



△警告

・浴室でシャワー・給湯を使っているときは、台所リモコンで運転スイッチの「入」・「切」を行わない。優先が台所リモコンに移り、あついお湯が出る場合があります。

△注意

- ・優先のないリモコンの運転スイッチを「切」にして、再度「入」にすると「入」にしたリモコンに優先が移ります。
- ・優先切り替えは浴室リモコンの優先スイッチで操作することをおすすめします。
- ・給湯温度が60℃以上に設定してあるリモコンに優先を移した場合は、危険防止のため、自動的に55℃に設定がかわります。

セットで使う場合

故障かな？

お湯の出かた

こんな時？

故障ではありません

給湯栓を開けてもすぐにお湯がでない

最初に使うときは、機器から給湯栓までの配管内の水が押し出されるまで少し時間がかかります。

夏などぬるいお湯が出ない

給湯栓を十分開いてお湯の量を多くすれば温度は安定します。水温が高いときぬるいお湯を少量出そうとするとお湯の温度が高くなる場合があります。

冬などあついお湯が出ない

お湯の量を少なめにしてお使いください。水温が低いときは、お湯を出しすぎるとあついお湯が出ない場合があります。

給湯栓を絞りすぎて水になった

給湯栓を十分開いてお湯の量を多くすれば温度は安定します。機器から出るお湯の量が1分間に約3.0ℓ以下になると消火するためです。

お湯が白く濁って見える

水の中の空気が分離して気泡となるためです。ビール・サイダー等の泡と似た現象であり汚濁とは違い無害なものです。

こんな時？

調べるところ・・・

あついお湯が出ない

- 湯温調節は適切ですか？ (14・18ページ)
- ガス栓が全開になっていますか？ (11ページ)

ぬるいお湯が出ない

- 湯温調節は適切ですか？ (14・18ページ)
- 水フィルターが詰まっていますか？ (27ページ)
- 給湯栓が十分開いていますか？ (14・16・18ページ)
- 給水元栓が全開になっていますか？ (11ページ)

お湯が出ない
(運転しない)

- 電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか？ (11ページ)
- 停電していませんか？ (6ページ)
- ガス栓が全開になっていますか？ (11ページ)
- 給水元栓が全開になっていますか？ (11ページ)
- 水フィルターが詰まっていますか？ (27ページ)
- 給湯栓が十分開いていますか？ (14・16・18ページ)
- 断水していませんか？
- 凍結していませんか？ (26ページ)



つアそれ付くたでもささわいいからなをいおときし

機器本体

こんな時？

故障ではありません

寒い日に排気口から白い湯気が出る

冬に、吐く息が白いのと同じように、排気ガスの中の水蒸気が白く見えます。

出湯停止後もファンの回転音がする

再使用時の点火をより早くするためしばらくは回転しています。

給湯栓を閉じると給水側の水抜き栓から一瞬水が漏れる

給水側の水抜き栓は、圧力逃し弁をかねています。水の圧力を逃がすために、水が出る場合があります。

こんな時？

調べるところ・・・

燃焼ランプが点灯しない
(運転しない)

- 電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか？ (11ページ)
 - 停電していませんか？ (6ページ)
 - ガス栓が全開になっていますか？ (11ページ)
 - 給水元栓が全開になっていますか？ (11ページ)
 - 水フィルターが詰まっていますか？ (27ページ)
 - 給湯栓が十分開いていますか？ (14・16・18ページ)
 - 断水していませんか？
 - 凍結していませんか？ (26ページ)
- 上の8項目を確認してリセット操作をしてください。
[リセット操作]
運転スイッチを「切」にし、約5秒後「入」にしてお使いください。

燃焼ランプが点滅した

- ガス栓が全開になっていますか？ (11ページ)
 - 給水元栓が全開になっていますか？ (11ページ)
 - 水フィルターが詰まっていますか？ (27ページ)
- 上の3項目を確認してリセット操作をしてください。

運転中に機器から異常音が聞こえる

点検依頼してください。

つアそれ付くたでもささわいいからなをいおときし

故障かな？

リモコン

(別売のリモコンを使用の場合)

こんな時？

故障ではありません

現在時刻が合っていない

浴室リモコンがある場合、5分以上、停電や電源プラグを抜いた後、再通電すると、時刻表示がAM1:00から進み始めます。再度、現在時刻を合わせてください。



こんな時？

調べるところ

画面表示しない

- 電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていませんか？ (11ページ)
- 停電していませんか？ (6ページ)

浴室リモコンの運転ランプが点灯しない

給湯燃焼ランプが点灯しない
(運転しない)

- 電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていませんか？ (11ページ)
 - 停電していませんか？ (6ページ)
 - ガス栓が全開になっていますか？ (11ページ)
 - 給水元栓が全開になっていますか？ (11ページ)
 - 水フィルターが詰まっていますか？ (27ページ)
 - 給湯栓が十分開いていますか？ (14・16・18ページ)
 - 断水していませんか？
 - 凍結していませんか？ (26ページ)
- 上の8項目を確認してリセット操作をしてください。
リセット操作
運転スイッチを「切」にし、約5秒後「入」にしてお使いください。

アラーム番号が表示されたとき

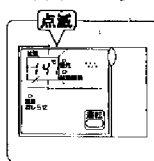
アラーム番号を確認してください。(24ページ)

つアそ
けフれ
くクで
だ！も
ささわ
い！が
ピラ
スを
い
おと
申さ
しは

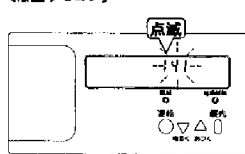
リモコンのアラーム番号が出たとき

- ・不具合が生じたとき、その原因をアラーム番号でお知らせします。原因に応じて表示部にアラーム番号が表示点滅し、自動的に運転を停止します。
- ・アラーム番号が表示点滅したときは、お買い上げの販売店または、最寄りの大阪ガスへご連絡ください。そのときは表示されているアラーム番号もお知らせください。

【台所リモコン】



【浴室リモコン】



(例) 図のようにアラーム番号が点滅してお知らせします。

本体表示	アラーム番号	原因	処置
燃焼 ランプ 消灯	701 711 ※761	制御基板の異常のため	ガス栓が全開であることを確認後、リモコンの運転スイッチを「切」にし、約5秒後、運転スイッチを「入」にしてお使いください。 ↓ それでもアラーム番号が出る場合は、修理を依頼してください。
	141	沸騰防止スイッチ作動	
	031	ガス種選択異常	
燃焼 ランプ 点滅	111 121	火がつかないときや、使用中に炎が消えてしまったため	
	311	温度検出器の故障のため	
	611 721	燃焼系の故障のため	
	510	ガス電磁弁回路の故障のため	

※761は、運転状態によって燃焼ランプが点灯または消灯します。

こんな場合には安全装置が働きます

- ・寒いとき、機器の電気ヒーターが働き機器内の凍結を予防します。……………凍結予防装置
- ・バーナーの炎が消えた場合にガスを止めます。……………立消え安全装置
- ・電気回路に漏電が生じた場合に電気を停止します。……………漏電安全装置
- ・給水されていないのに燃焼している場合にガスを止めます。……………残火安全装置
- ・機器の温度が異常に上昇した場合にガスを止めます。……………過熱防止装置
- ・機器内の水圧が異常に上昇した場合に機器の損傷を防止します。……………過圧防止安全装置

凍結による破損予防

機器や配管が凍結すると、給湯ができないばかりでなく、水漏れの原因となります。次のいずれかの方法により凍結による破損を予防してください。

- ・通常の寒さのとき（外気温が $-15^{\circ}\text{C}\sim 0^{\circ}\text{C}$ ）は凍結予防装置による方法
- ・異常寒波のとき（外気温が -15°C 以下）は通水による方法
- ・長期不在のときは機器内の水を抜く方法

通常の寒さのとき（外気温が $-15^{\circ}\text{C}\sim 0^{\circ}\text{C}$ ）

凍結予防装置による方法

この機器には、気温が下がってくると自動的に機器内を保温する凍結予防ヒーターがついています。通常は機器の電源プラグをコンセントに差し込まれた状態にしておけば、機器内の凍結は予防できます。

凍結予防装置は運転スイッチが「入」・「切」に関係なく作動します。

電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確かめる



ご注意

- ・電源プラグがコンセントから抜かれていると作動しませんのでご注意ください。
- ・この方法では、機器内の凍結を予防できても配管は凍結することがありますので、配管は必ず保温材や電気ヒーターを巻くなどの措置をしてください。
- ・次の朝、お使いになるときは給湯栓を開けて、水が出ることを確認してから運転スイッチを「入」にしてください。

異常寒波のとき（外気温が -15°C 以下）

通水による方法

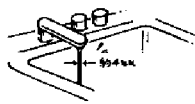
機器本体だけでなく、給水・給湯配管、給水元栓などの凍結予防もできます。

1 運転スイッチを「切」にする

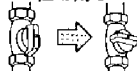


3 給湯栓から水を流す

1分間に約400cc…太さ約4mmを流したままにしておきます。



2 ガス栓を閉じる



4 流れる量を確認する

流量が不安定になることがありますので約30分後に再度流れる量を確認してください。



ご注意

- ・家の人に凍結予防のため水を流していることをお知らせください。水を止めると凍結します。

△注意 やけど注意

・使用後すぐに水抜きをしない。機器やお湯が高温になっていますので冷えてから行う。

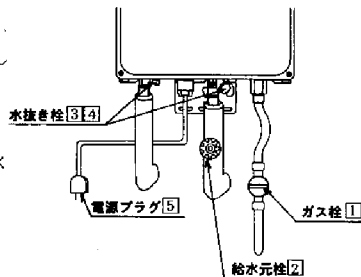
長期不在のとき

機器内の水を抜く方法

長期不在等で家の電気ブレーカーを「切」にする場合や電源プラグを抜く場合には、この機器内の水を抜く方法によります。

（図は34-320を示します。）

- ①ガス栓①を閉じます。
- ②給水元栓②を閉じます。
- ③全ての給湯栓を全開にします。
- ④水抜き栓③④を外して、水が出ることを確認してください。
- ⑤電源プラグ⑤を抜きます。



- ・以上の操作で機器内の水は排水されますので、次にお使いになるまでそのままにしておいてください。

再使用する場合

- ①水抜き栓③④を閉じます。
- ②全ての給湯栓を閉じます。
- ③給水元栓②を開き、水漏れがないか確認します。
- ④電源プラグ⑤をコンセントに差し込みます。
- ⑤ガス栓①を全開にします。

ご注意

- ・水抜きをするとき、床などに水が漏れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して、水を受けてください。
- ・水抜き栓は元通りに確実に閉じてください。閉じかたが不十分であったり閉じ忘れたりするとそこから水漏れします。
- ・水抜き栓の閉じ忘れなどによる水漏れで壁を汚したり、階下を濡らした場合の修理・補修費用は、お客様の負担となります。

凍結したときは

- ・凍結した場合、ガス栓・給水元栓を閉じてください。凍結したまま運転操作をしますと機器に異常が生じる場合があります。運転スイッチを「切」の状態で給湯栓を開けて水が出ればご使用になります。
- ・通水したら、水漏れがないことを確認のうえ、ご使用ください。
- ・取扱説明書に従った凍結予防の処置をせずに機器や配管が破損しますと高額な修理費用（有料）がかかる場合があります。
- ・機器や配管が破損し、水漏れで壁を汚したり、階下を濡らした場合の修理・補修費用は、お客様の負担となります。

点検とお手入れ

安全にお使いいただけるように、点検と手入れは定期的に行いましょう。

点検

- 機器の周りや排気口のそばに燃えやすいものはありますか？
- 運転中に機器から異常（異常音、排気に不快な臭い、目にしみるなど）がありませんか？
- 機器の外観に異常がありませんか？
- 機器や配管よりガスの臭気がありませんか？
- 機器や配管より水漏れはありませんか？
- 水漏れは、機器の故障だけでなく、お隣や階下の方にも多大な迷惑をかけます。排気口が微音や屋根から落ちた雪により閉塞されていませんか？
- 排気口が閉塞されていると機器が不完全燃焼することがあります。積雪時には排気口の点検、除雪を行ってください。屋根から落ちた雪が排気口を閉塞する恐れがある場合は、お買い上げの販売店または、最寄りの大阪ガスへご連絡ください。

お手入れ

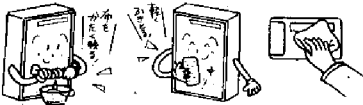
給水元栓・ガス栓を閉じ、電源プラグを抜いて機器が冷えてから行ってください。フロントカバーを外したり、リモコンなどを分解したりしないでください。お手入れの際、指先には十分注意してください。



分解禁止

機器本体及びリモコン

汚れは水をつけた布をかたく絞り、軽く拭きとってください。



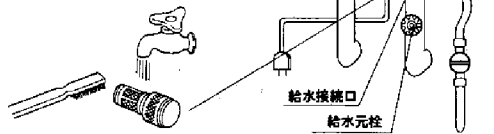
- ・センサー・ベンジンなどは使わないでください。変形する場合があります。
- ・リモコンの内部には電気部品が入っていますので、水をかけないでください。故障の原因となります。

給水側水フィルター

(図は34-320を示します。)

次の要領で定期的に行ってください。

- (1) 給水元栓を閉じます。
- (2) 給水接続口にある水フィルターを外します。
- (3) 水フィルターを歯ブラシなどで洗います。
- (4) 水フィルターをもとにもどし、給水元栓を開けます。



浴槽・洗面台

浴槽、洗面台はこまめにそうじしてください。湯アカが残っていると、水中に含まれるわずかな銅イオンとせっけんなどに含まれる脂肪酸とが反応して、青く変色することがあります。

点検・お手入れ後の確認

- ・点検・お手入れの後は、電源プラグをいれガス栓を開いて、運転スイッチを「入」にして給湯栓を開き、機器が正常に作動していることを確認してください。
- ・万一、異常な燃焼・臭気・異常音を感じられたときは、使用を中止し、ガス栓を閉めてお買い上げの販売店または、最寄りの大阪ガスへご連絡ください。

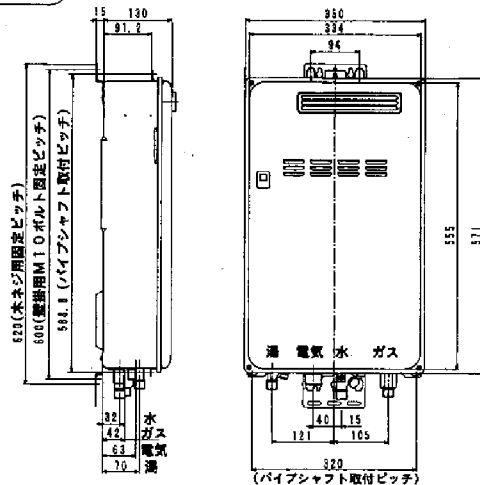


寸法図

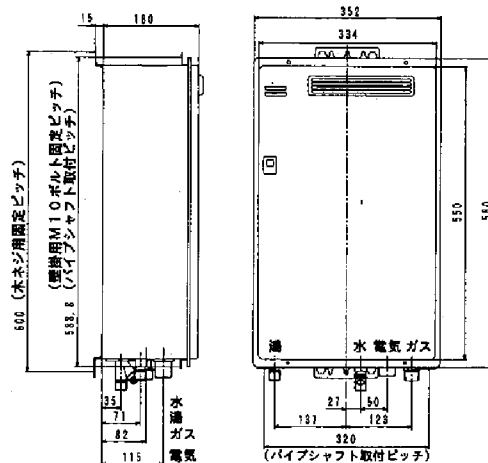
機器本体

(下図は34-320を示します。)

(単位: mm)

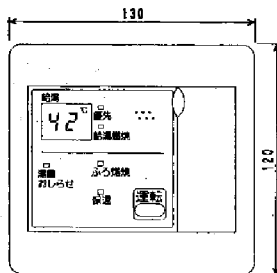


(下図は34-310を示します。)



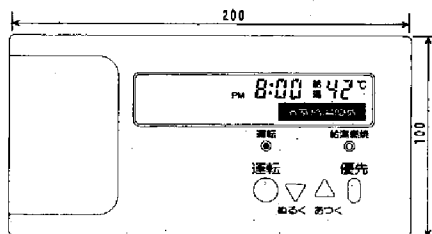
台所リモコン [38-525] (別売品)

(単位: mm)



浴室リモコン [38-526] (別売品)

(単位: mm)



仕様

仕様表

項目	内容				補足説明
品名	34-320	34-321	34-322	34-323	
型式名	TP-SQ166R-1	TP-SQ166T-1	TP-SQ166S-1	TP-SQ166B-1	
外形寸法 (mm) / 質量 (kg)	幅 350 × 奥行 130 × 高さ 571 / 1.7				機種の外形寸法 / 本体の質量
種給湯方式	先止め式				前置換気扇で6分・8分できる機器
型設置・給排気方式	屋外式・強制排気式				屋外設置しているもの
点火方式	AC100V連続放電式 (ダイレクト着火)				放電火花による点火方式
水使用水圧	80~800kPa (0.8~8.0kgf/cm ²)				使用できる水圧
水圧最低作動水圧	20kPa (0.2kgf/cm ²)				機器が作動する最低の水圧
接水	1.5A (R1/2) オネジ				各配管の接続口径
連続給水・給湯	1.5A (R1/2) オネジ				
電源	AC100V (50/60Hz)				
リモコン使用	24V以下				
消費無負荷時	6W	6W	6W	6W	
電力使用時	55W	65W	55W	65W	
電圧降下時	80W				
電源コード	VCT (2芯) 2.0m				機器の電源コードの種類と長さ
安全装置	水漏れ検知装置 (水量センサー) 過熱防止装置 (温度ヒューズ) 逆風検知装置 (可逆検知方式) 立通し安全装置 (フレームロッド方式) 漏電安全装置 (漏電リレー) 過圧防止安全装置 (スプリング式) 燃焼予防装置 (電熱ヒーター) 誘導管保護装置 (サージブローバー) 焼火安全装置 (パイメタル式)				安全装置の名称
付属品	取扱説明書・工事説明書・実家所一覧・保証書				
別売品	浴室リモコン・台所リモコン・リモコンコード				

能力表

型式名	使用ガス 使用ガスグループ	1時間あたりのガス消費量 kW (kcal/h)	出湯能力 (最大時) (ℓ/min)		ガス接続
			水温+25℃上昇	水温+40℃上昇	
34-320	都市ガス 1.5A	34.9 (30,000)	(16)	10	1.5A (R1/2)
34-321					
34-322					
34-323	LPガス	35.0 (2.5kg/h)	(16)	10	

- ① ガス: JISに規定する標準ガス・標準圧力のとき。
 ② 出湯能力は、水圧200kPa (2.0kgf/cm²) のときで、温度を高めに設定し、水と混合させることにより可能となる最大流量の計算値をいいます。
 ③ 本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。

仕様表

項目	内容				補足説明
品名	34-310	34-311	34-312	34-313	
型式名	TP-SQ246K-1	TP-SQ246T-1	TP-SQ246S-2	TP-SQ246B-1	
外形寸法(φ/質量)(kg)	幅352×奥行180×高さ580/19				機器の外形寸法/本体の質量
種給湯方式	先止め式				給湯時の燃費/湯水の温度
設置・給湯気方式	屋外式・強制排気式				屋外設置しているもの
点火方式	AC100V連続放電式(ダイレクト着火)				放電火花による点火方式
使用水圧	80~800kPa(0.8~8.0kgf/cm ²)				使用できる水圧
水圧最低動作水圧	20kPa(0.2kgf/cm ²)				機器が動作する最低の水圧
接続ガス	20A(R3/4)オネジ				各配管の接続口径
給水・給湯電	20A(R3/4)オネジ				
電源	AC100V(50/60Hz)				
リモコン領	24V以下				
消費電	6W				
電力使用時	74W				
係凍結予防時	77W				
電源コード	VCT(2芯)2.0m				機器の電源コードの種類と長さ
安全装置	水流検知装置(水量センサー) 送風機検知装置(回転検知方式) 漏気安全装置(漏気リレー) 凍結予防装置(電熱ヒーター) 換気(パイメタル式)	過熱防止装置(温度ヒューズ) 消火安全装置(フレームロッド方式) 過圧防止安全装置(スプリング式) 誤作動保護装置(サーミアブローバー) 熱火安全装置	安全装置の名称		
付属品	取扱説明書・工事説明書・事業所一覧・保証書				
別売品	浴室リモコン・台所リモコン・リモコンコード				

能力表

型式名	使用ガス 使用ガスグループ	1時間あたりのガス消費量 kW(kcal/h)	出湯能力(最大時)(ℓ/min)	ガス接続
34-310	都市ガス	52.3(45,000)	24.0	15.0
34-311				
34-312	LPガス	52.5(45,750)	24.0	15.0
34-313				

⑥ガス：JISに規定する標準ガス・標準圧力のとき。

⑦出湯能力は、水圧200kPa(2.0kgf/cm²)のときで、温度を高め設定し、水と混合させることにより可能となる最大流量の計算値をいいます。

⑧本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。

アフターサービスについて

サービスを依頼される時

- ・21~24ページの「故障かな?」の項をご確認ください。それでも直らない場合、あるいは不明の場合には、ご自分で修理ならぬでお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
- ・アフターサービスをお申し付けの際は、次のことをお知らせください。
 - (1) 氏名・住所・電話番号・道順(村近の目印)
 - (2) 品名(例) 34-320型(ガスの種類:例えば13A) (右のようなラベルを機器の前面部に貼付けてあります。)
 - (3) お買い上げ日(保証書をご覧ください。)
 - (4) 故障または異常の内容(アラーム表示の状態など、できるだけ詳しく)
 - (5) 訪問ご希望日

保証書について

- ・このガス給湯器には保証書がついています。
- ・保証書に記載のように、ガス給湯器の故障について修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
- ・保証書を紛失されますと無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。
- ・保証期間経過後の故障修理については、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスにご相談ください。修理によって、性能が維持できる場合は有料修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間について

- ・修理によって性能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- ・補修用性能部品(機能維持のため必要な部品)の最低保有期間は製造打切後10年です。ただし、最低保有期間経過後であっても修理用性能部品の在庫がある場合は、有料修理いたします。

転居または機器を移設される時

- ・ガスの種類には都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。ガスの種類、ガスグループの区分が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類、ガスグループの区分を確認のうえ、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスにご相談ください。この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。ただし、ガスの種類によっては調整できない場合もあります。

メモ

メモ